

三原市人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課

編集／三原市人権文化センター

所在地／三原市長谷一丁目6番1号

電話／0848-66-1111

FAX／0848-66-1112

文化祭を開催！

食欲の秋、芸術の秋を満喫しよう！！

11月19日（日）10時～14時

三原市人権文化センターにて

ステージ



市ホームページ

※登録型本人通知制度の受付窓口を設けますので、お立ち寄りください。

プログラム

- 10:00 開会セレモニー
- 10:10 演 武（太極拳教室）
- 10:40 吹奏楽（ポコ・ア・ポコみはら）
- 11:25 歌 謡（カラオケ教室）
- 11:55 三 線（三線クラブ ゆいまーる）
- 12:25 合 唱（カルティエコール）
- 12:48 ダンス（ナニカイタヒチ広島、カウイ・モキハナ大和）
- 13:16 吹奏楽（三原高校器楽部OB会）
- 13:56 閉会セレモニー

文化祭に参加して人権について学び交流しよう！！

展 示

- | | |
|---------|------------|
| 絵手紙 | 絵手紙教室（三原） |
| | 絵手紙教室（本郷） |
| 書道 | 書道教室 |
| 生け花 | 生花教室 |
| ポスター | パソコン教室 |
| 絵画 | 個人出展 |
| 人権パネル | 三原市人権推進課 |
| 人権写真・絵画 | 三原市協議会 |
| 平和パネル | 三原市原爆被害者之会 |
| 絵画・書道 | 沼北小学校 |
| 絵画・書道 | 沼田小学校 |
| 製作物 | 長谷保育所 |



バザー

- ワッフル、陶芸品
- 日用品、野菜の天ぷら
- フランクフルト、コーヒー
- みそ田楽
- もち粉団子ぜんざい、赤飯
- うどん
- 地元野菜
- お好み焼き
- から揚げ、焼きそば
- 焼き芋
- 生花、コンブ、ひじき等
- リサイクル用品



昨年の文化祭の様子

人権相談

人権相談員が相談をお受けします。◇ と き 土・日・祝日を除く10時～16時
 相談は無料で、秘密は守られます。◇ ところ 三原市人権文化センター
 お気軽にご相談ください。 ◇ 電 話 0848-66-1111



「誰か」のことじゃない。自分自身のこととして考えよう。

人権のひろば



まな 学ぼう！SDGs (持続可能な開発目標) (15)

SDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標として、2030年度を達成年限とし、17のゴール(目標)で構成されています。“人権ひろば”では、人権に関する目標を紹介していきます。

14 海の豊かさを守ろう



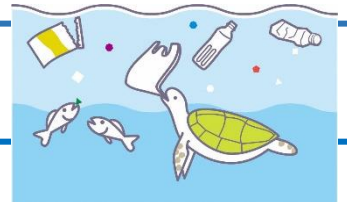
【目標14. 海の豊かさを守ろう】

2025年までに、海洋ゴミや富栄養化など、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海の汚染を防ぎ、大きく減らすことを目標としています。

とりわけ、私たちが使っているビニール袋やペットボトルなどのプラスチックごみが年間900万トンから1400万トン(2016年時点)海に流れ出ていることは大きな問題です。

また、海洋汚染の原因の8割は陸地からの影響であると言われ、農業及び工業廃水、未処理の下水や油、窒素やリンなどの栄養塩類、川や湖の底に堆積した汚染物質、海洋ゴミなどが陸地から海へと流れ込み、悪い影響を与えています。この海洋汚染は、「海洋温暖化」「海洋の酸素欠乏」「海洋の酸性化」などを引き起こしています。「海洋の温暖化」とは、地球温暖化により海水の温度が上昇していくことをいい、海洋中の生態系に悪影響を及ぼします。「海洋の酸素欠乏」とは、地球温暖化により、水中に溶ける酸素の量が減少し、生物の大量絶滅につながります。「海洋の酸性化」とは、海洋の酸性度が高まることによって海中のサンゴやプランクトンや甲殻類などの石灰化生物の生命・繁殖に悪影響を与えます。今のままで地球温暖化が進めば、2030年には地球上のほとんどのサンゴ礁が消滅すると言われています。

私たちは海に助けられ、海で生まれた資源を消費して生きています。この海洋資源を持続的に開発しつつ、生態系を守っていくことは、海の豊かさを維持していく上では重要な課題となっています。(gooddo SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」で解決するべき問題と現状とは から参考)



★きょうは何の日？ 11月 人権カレンダー

11月19日 国際男性デー

国際男性デーは、「男性・男児の健康に目を向け、ジェンダー平等を促すこと」を趣旨として、1999年にトリニダード・トバゴ共和国で始まったとされており、世界の複数の国では、この日を記念日として、イベントやキャンペーンを実施しています。

「男だから〇〇するべき。〇〇しなければならない」といった「ジェンダーバイアス」は「男性の生きづらさ」につながると同時に、ジェンダー平等実現への妨げになるものです。「ジェンダーバイアス」にとわられることなく、一人ひとりの自分らしさに目を向け、お互いを尊重することが大切です。